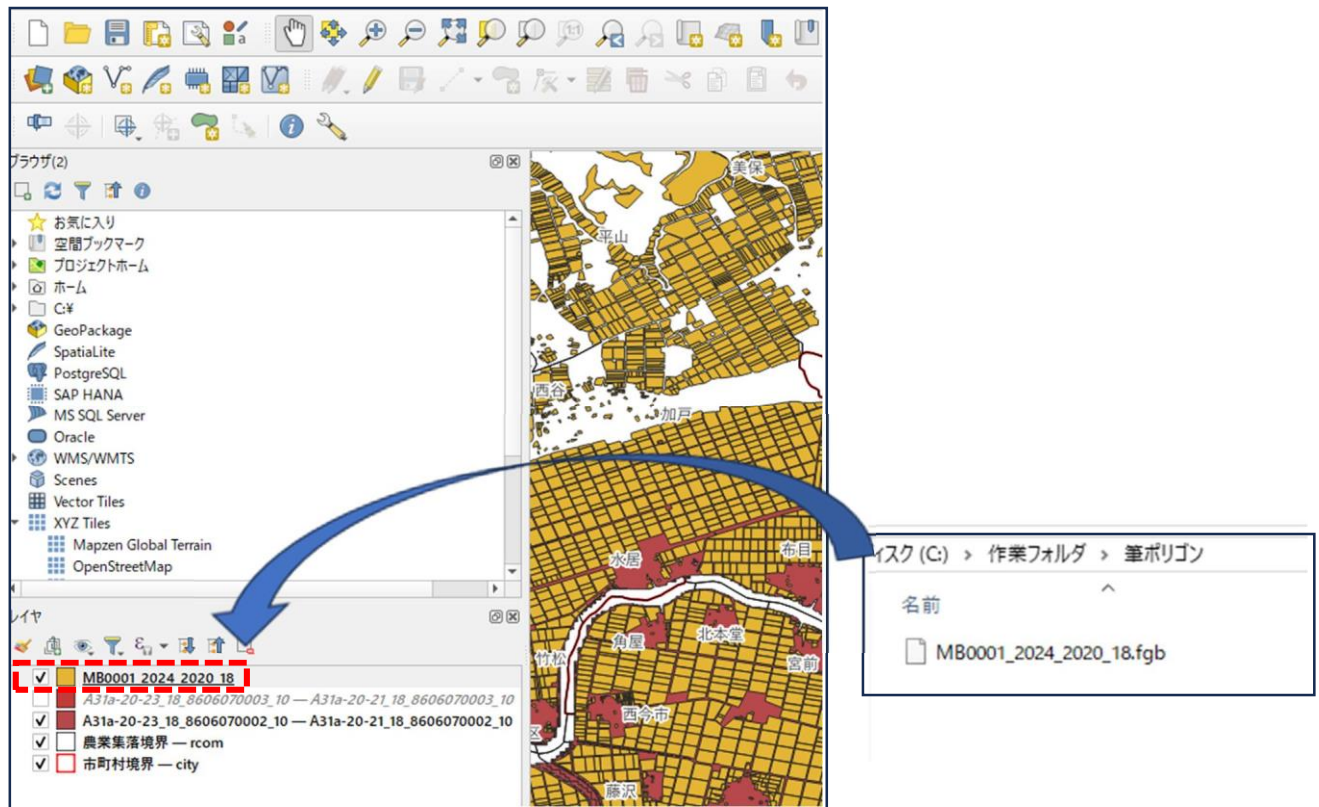


## 5. 筆ポリゴンデータの取り込み

### (1) データの取り込み

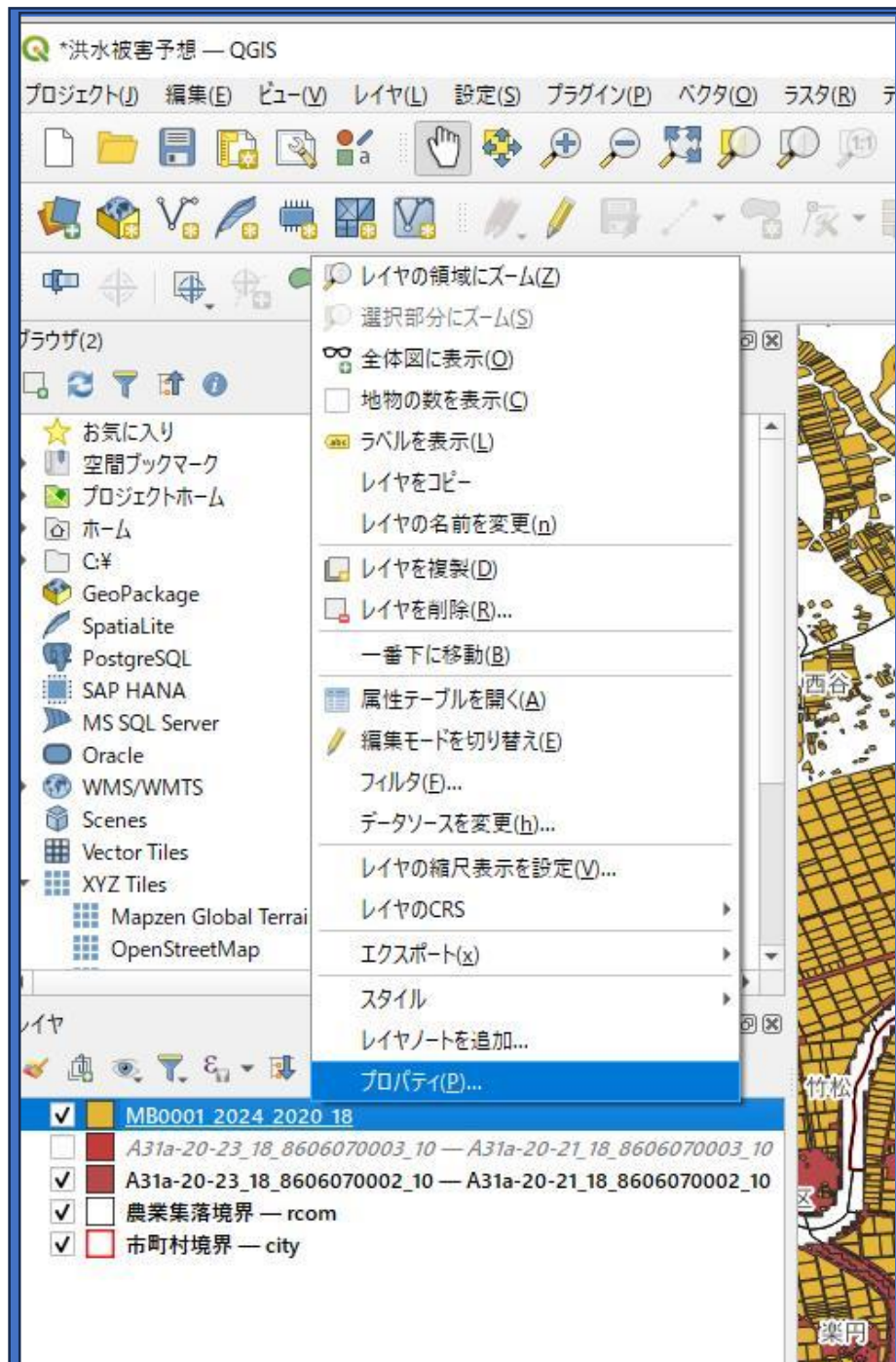
QGIS のレイヤパネル（赤枠）に「作業フォルダ」の「筆ポリゴン」フォルダにある「MB0001\_2024\_2020\_18」のファイルをドラッグアンドドロップします。



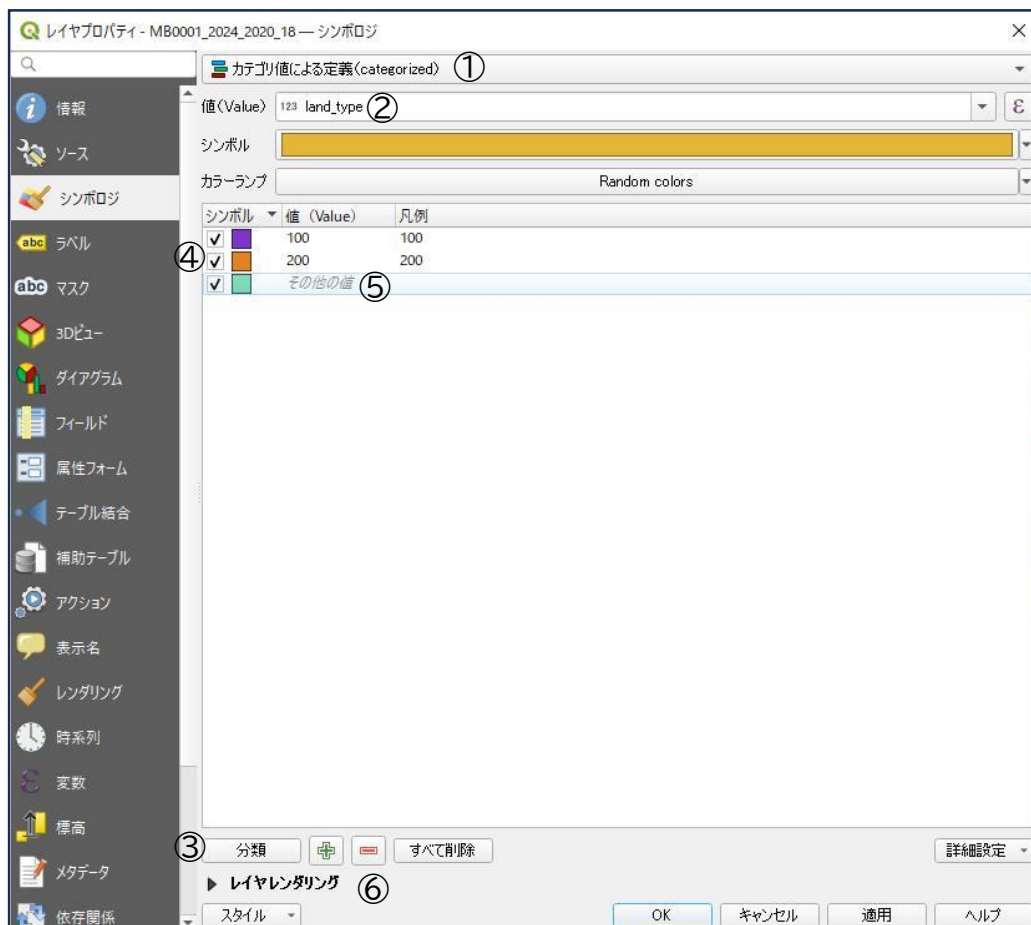
## (2) 凡例の変更

レイヤプロパティのシンボロジメニューで値の凡例を表示させます。

レイヤを選択し右クリック→プロパティをクリックします。



「シンボロジ」を選択し①「カテゴリ値による定義」を選択、②値 (Value) は「land\_type」を選択、③「分類」をクリックすると④シンボルの凡例が表示されます。  
不要な凡例を削除するため、⑤「その他の値」を選択し、⑥「－」をクリックします。



2つの値についてそれぞれ色分けを行います。

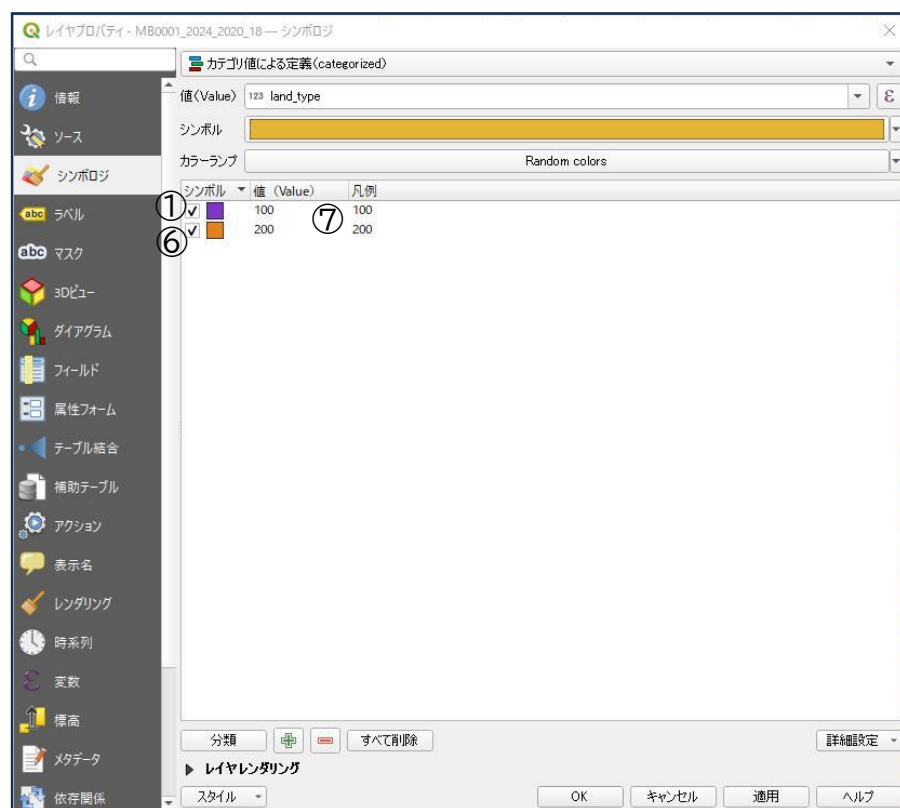
①値 100 のシンボルをダブルクリックします。

シンボル設定が開くので、②シンプル塗りつぶしを選択し、③塗りつぶし色、④ストローク色、⑤ストローク幅を下記の表のとおり色分けを行います。

⑥値 200 のシンボルをダブルクリックし、値 100 と同様に下記の表のとおり色分けを行います。

⑦凡例をダブルクリックし、値 100 を田、200 を畑に修正し OK をクリックします。

| 値（凡例）  | 塗りつぶし色 |      |      |         | ストローク色 |      |      |         | ストローク幅 |
|--------|--------|------|------|---------|--------|------|------|---------|--------|
|        | R（赤）   | G（緑） | B（青） | HTML表記法 | R（赤）   | G（緑） | B（青） | HTML表記法 |        |
| 100（田） | 178    | 223  | 138  | #b2df8a | 0      | 0    | 0    | #000000 | 0.26   |
| 200（畑） | 253    | 191  | 111  | #fdbf6f | 0      | 0    | 0    | #000000 | 0.26   |





## 6. 背景地図の設定

### (1)「全国最新写真」

背景地図として、「全国最新写真（シームレス）」を表示させる方法です。

ブラウザパネル内「XYZ タイル」を右クリックし新規接続をクリックし下記の通り入力します。

名前：全国最新写真（シームレス）

URL：https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/seamlessphoto/{z}/{x}/{y}.jpg

ズームレベル：最小 14、最大 18

ブラウザに「XYZ タイル」が表示されるのでダブルクリックするとレイヤパネルに追加されます。

「XYZ タイル」をクリックすると「全国最新写真（シームレス）」が表示されます・

## 参考 タイルについて

地理院タイル一覧（国土地理院）

<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

国土地理院のウェブサイトを利用できる地図の一覧があります

名前：国土地理院標準地図

URL：https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/std/{z}/{x}/{y}.png

## 参考

ハザードマップの表示

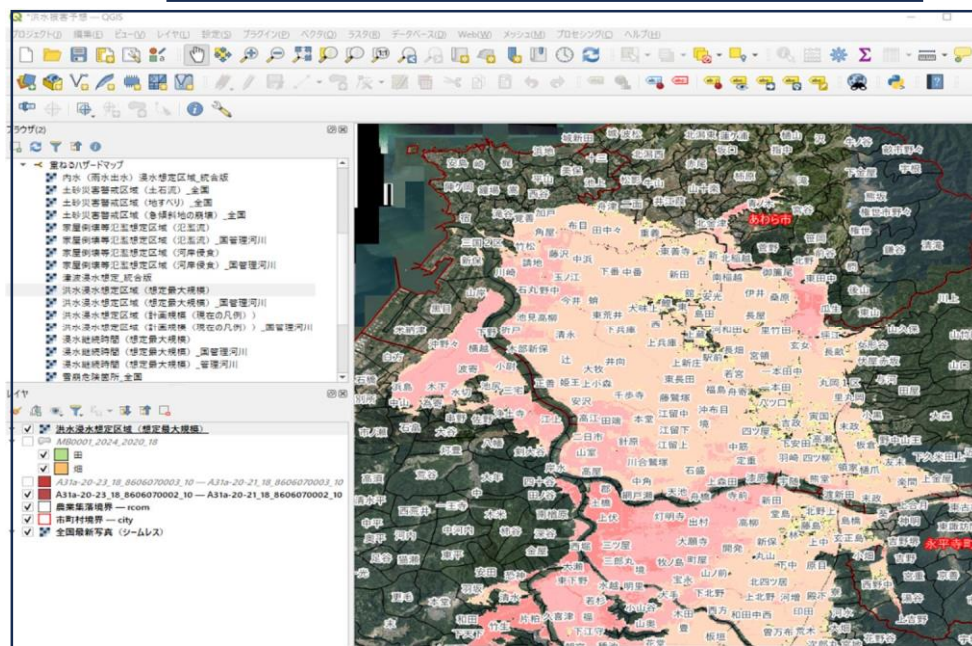
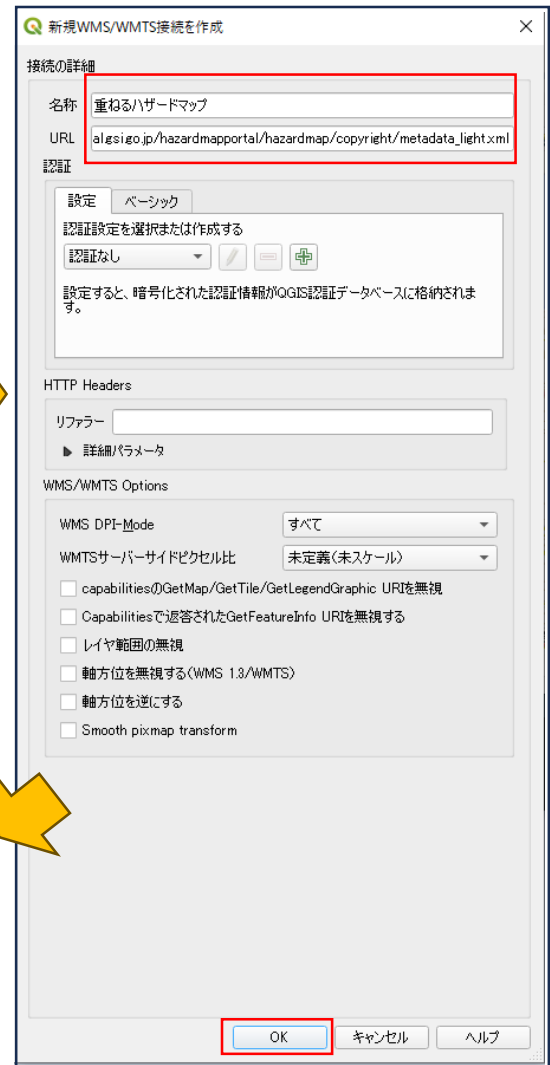
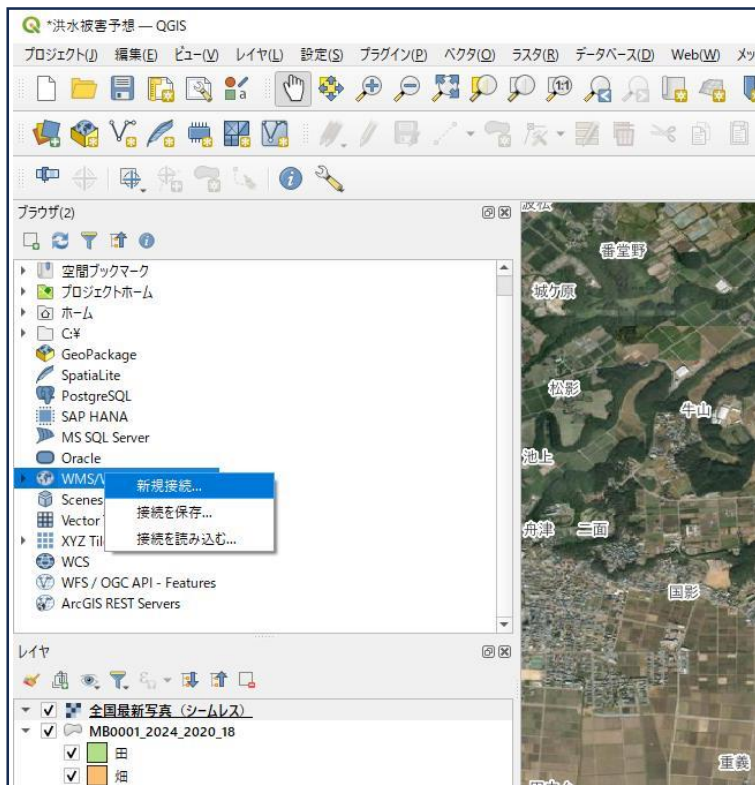
ハザードマップを表示させることもできます。

ブラウザパネル内「WMS/WMTS」を右クリックし新規接続をクリック

名称：重ねるハザードマップ

URL：https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmapportal/hazardmap/copyright/metadata\_light.xml

OK をクリックし、ブラウザパネル内の「 WMS/WMTS 」に表示された「洪水浸水想定区域（想定最大規模）」をダブルクリックすると、レイヤパネルに追加され、マップ表示部に表示されます。





## 参考

レイヤの表示順について

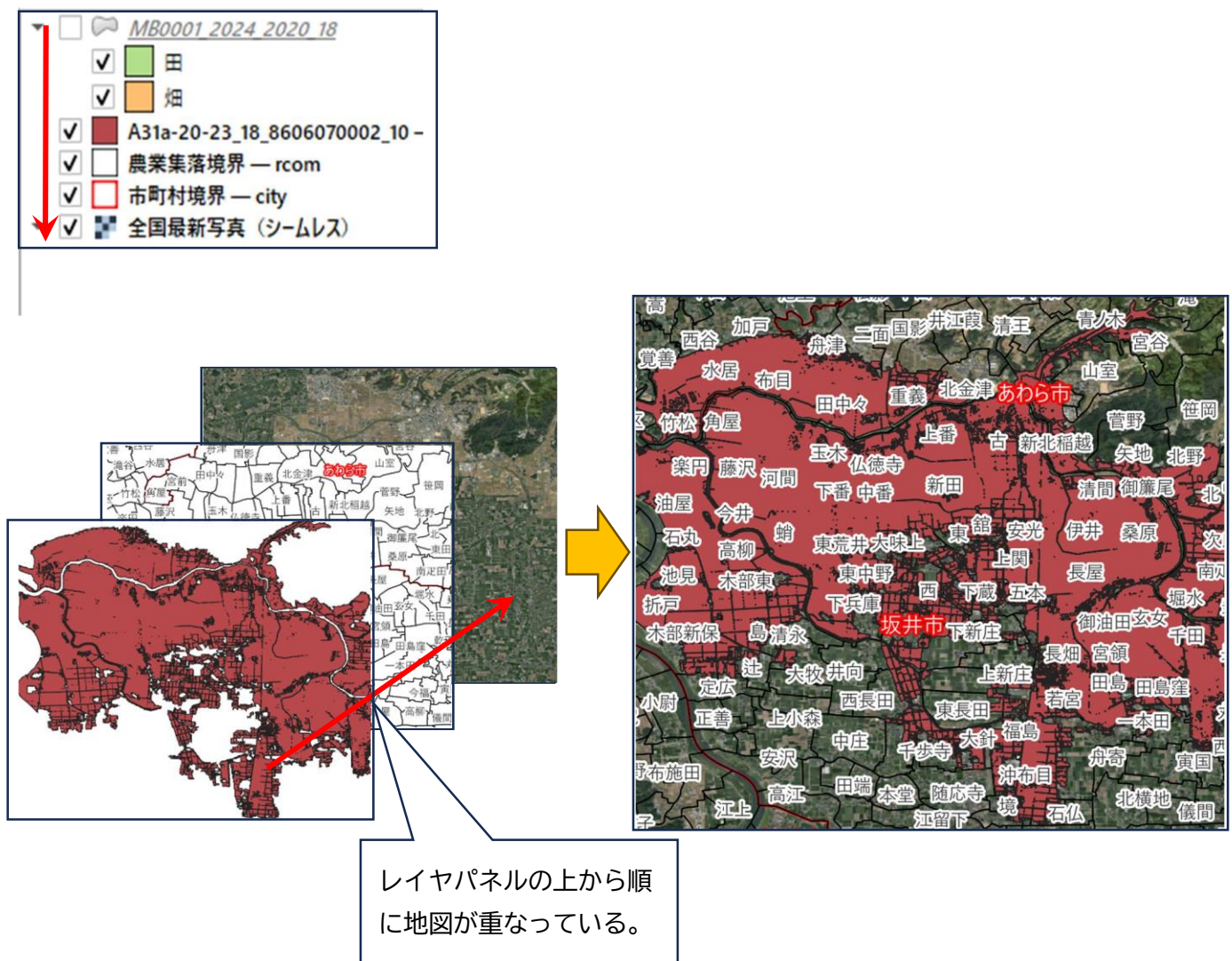
レイヤパネルの上から順にレイヤが重なり地図が表示されます。

常に表示する地図を一番下に設定してください。

レイヤパネル上でドロップ&ドラッグすることで上下の変更ができます。

地図が一番上の場合、農業集落境界等のレイヤは表示されません。

レイヤを透けさせたい場合、レイヤのプロパティの「シンプロジ」（地図は「透明度」）で不透明度を 100%から下げることで下のレイヤを透けさせることもできます。

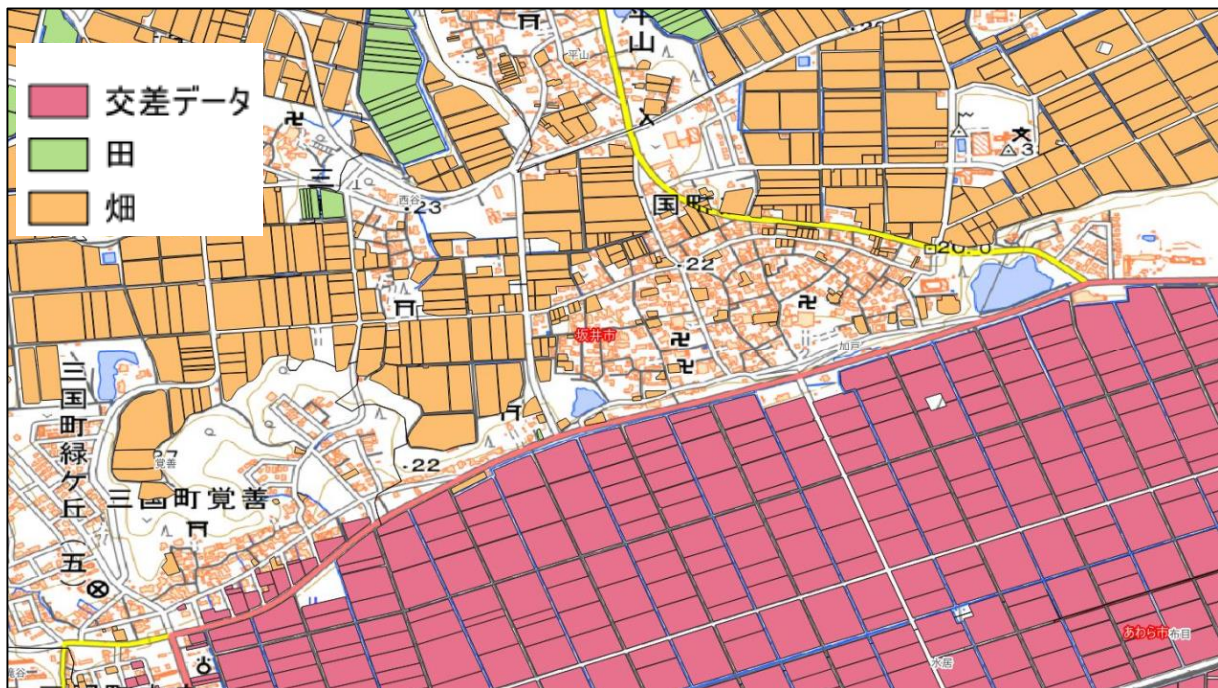




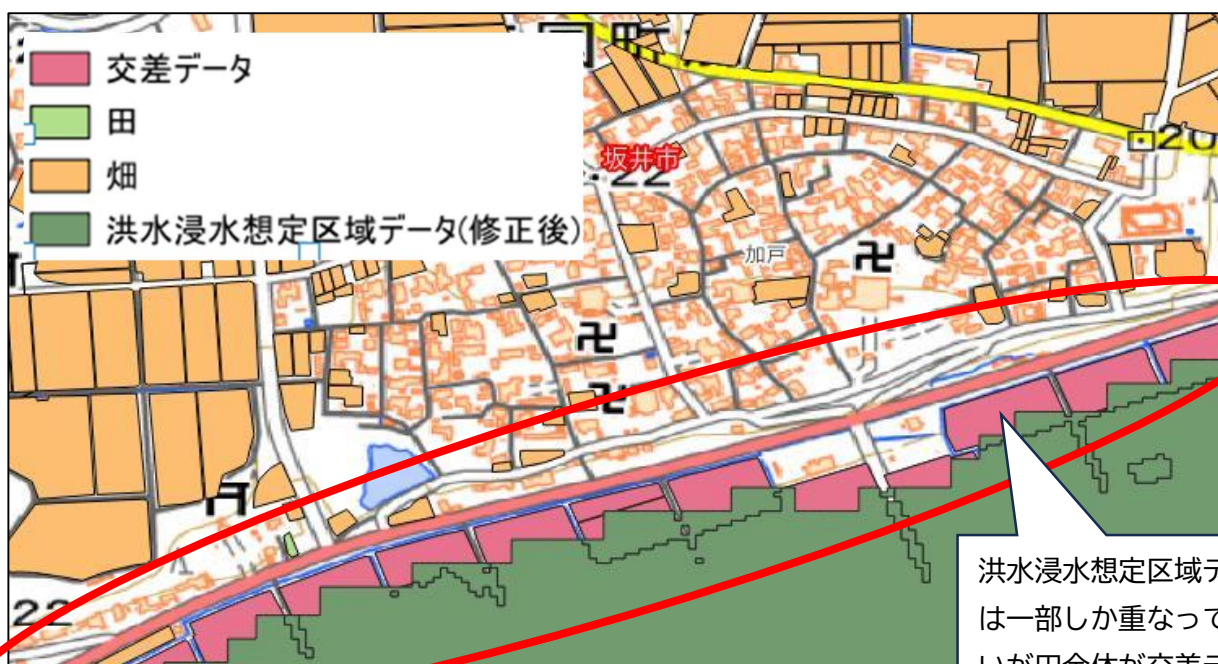
## 7. 洪水浸水想定区域データと筆ポリゴンデータの交差

QGISの「交差」機能で、洪水浸水想定区域データと筆ポリゴンデータの交差部分を抜き出すことができます。

「交差データ」は洪水浸水想定区域と田畑が重なった部分で、今回の方法は田畑の一部が洪水浸水想定区域と重なっているとその田畑全体が交差データとなります。



↓ 洪水浸水想定区域データを重ねて拡大

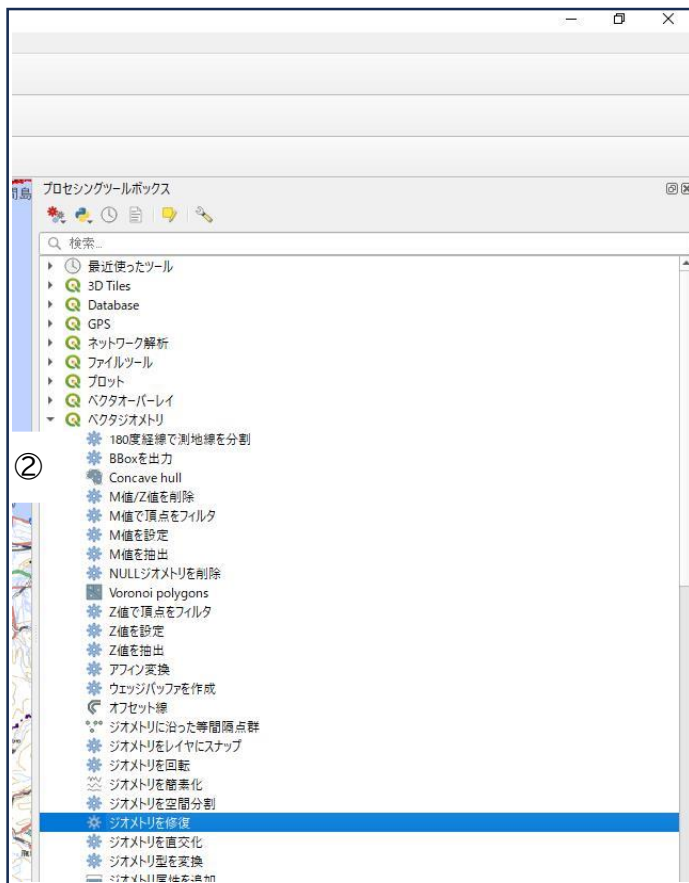
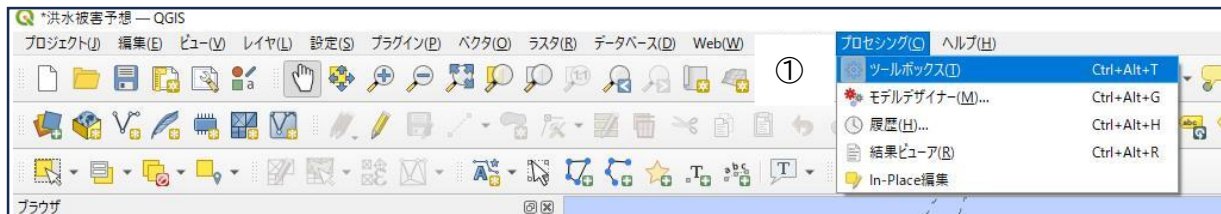


洪水浸水想定区域データは一部しか重なっていないが田全体が交差データとなる。

## (1) ジオメトリの修復

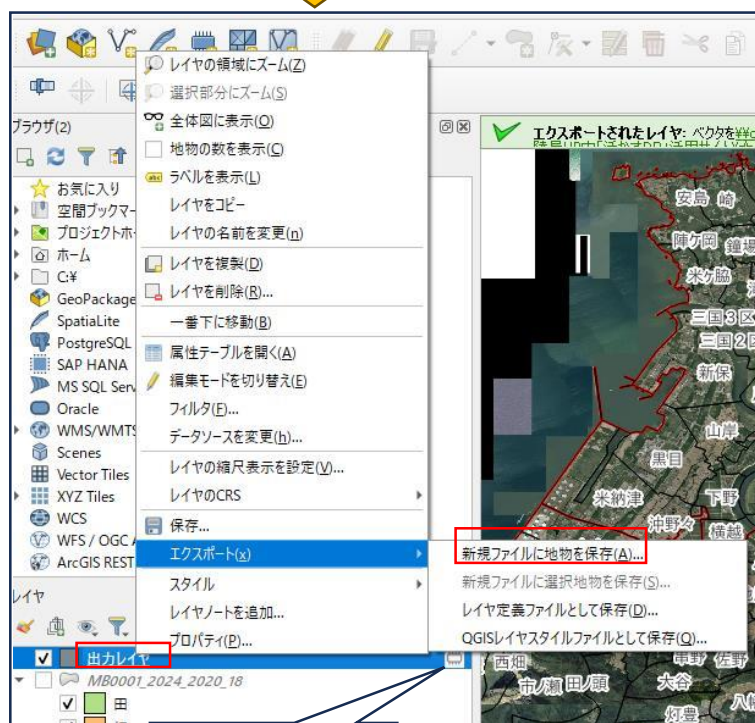
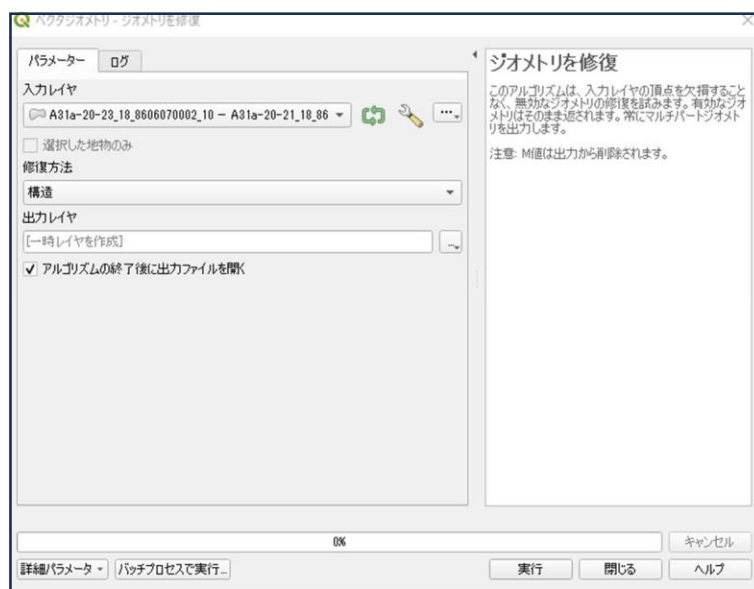
QGIS の「交差」機能で、洪水浸水想定区域データと筆ポリゴンデータの交差部分を抜き出すことができます。しかしポリゴンデータに不正なデータが含まれるとエラーとなるため、ジオメトリの修復で不正なデータの修正を行います。

①プロセッシングを選択し、ツールボックスを選択するとプロセッシングツールボックスが開くので、ベクタジオメトリを選択し、ジオメトリの修復をダブルクリックします。



入力レイヤに「A31a-23\_18\_10\_GEOJSON」（洪水浸水想定区域データ）を選択し、「実行」をクリック、処理終了後に「閉じる」をクリックします。

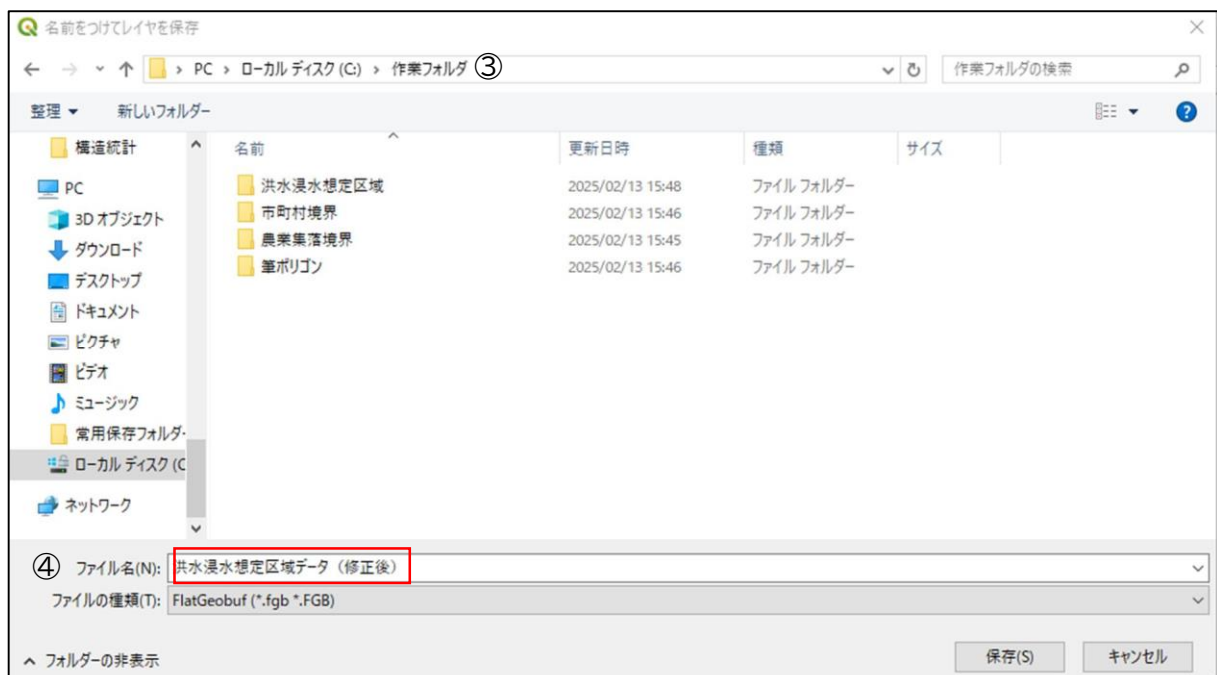
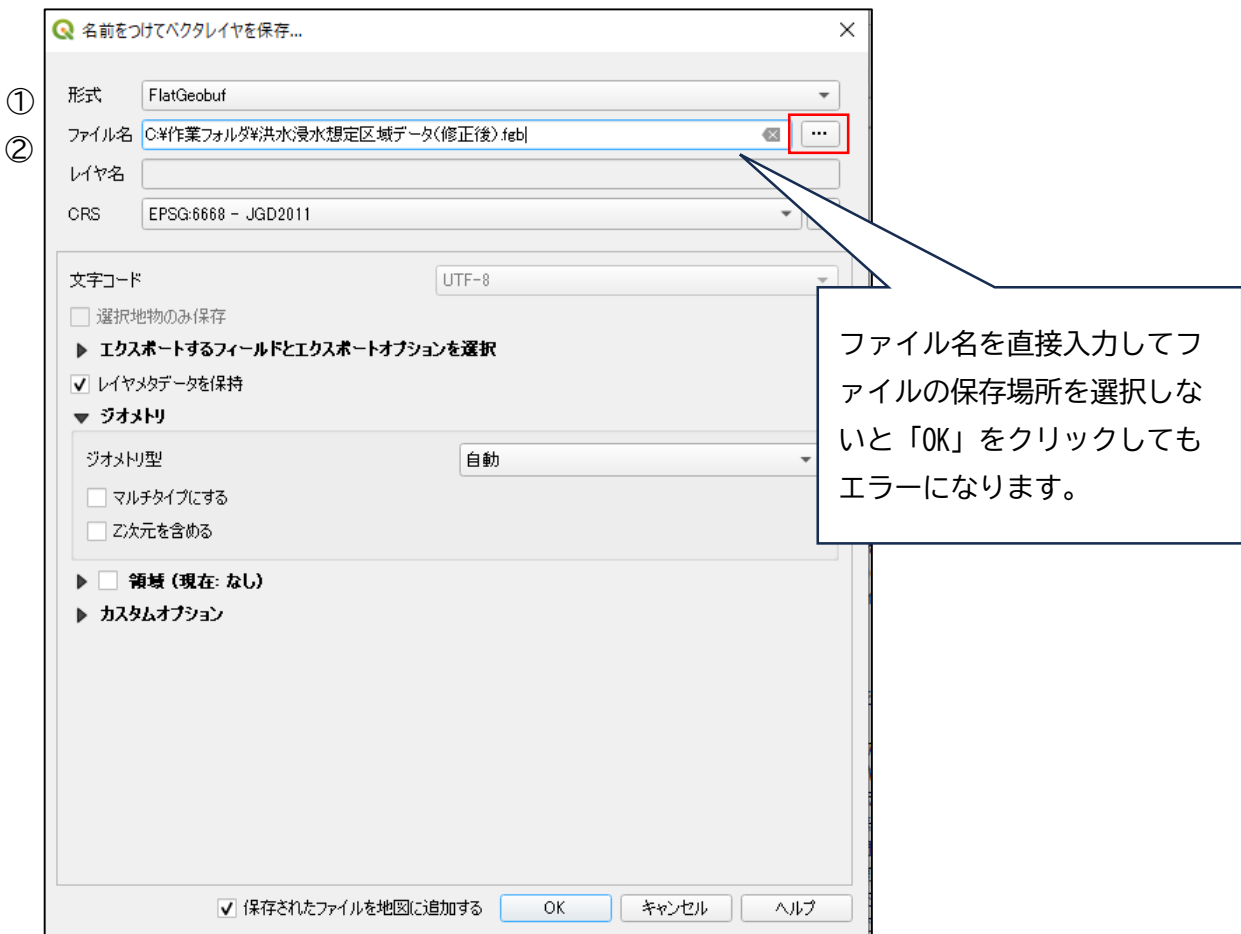
修正された洪水浸水想定区域データが「出力レイヤ」として出力されますが、これは「一時スクラッチレイヤ」（プロジェクトを閉じると消えるファイル）のため、右クリックし、「エクスポート」を選択し、「新規ファイルに地物を保存」をクリックします。



一時スクラッチ  
ファイルの表示



「名前を付けてベクタを保存」が開くので、①形式は「FlatGeobuf」、②ファイル名の「…」をクリックし、③保存場所を作業フォルダ、④ファイル名を洪水浸水想定区域データ（修正後）として保存し OK をクリックします。

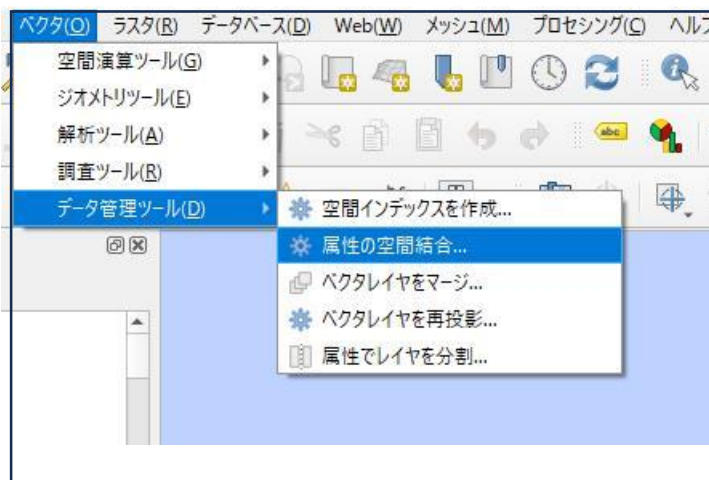




## (2) 交差データ作成

「ベクタ」を選択し「データ管理ツール」を選択、「属性の空間結合」をクリックします。

「ベクター一般-属性の空間結合」が開くので、①地物を結合するレイヤに「MB0001\_2024\_2020\_18」（筆ポリゴンデータ）、②空間的關係は「交差する」に☑、③比較対象は「洪水浸水想定区域データ(修正後)」を選択、④結合型は「もっとも重なる地物の属性のみ（1対1）」⑤結合対象がなかった地物を破棄に☑し、「実行」をクリックします。



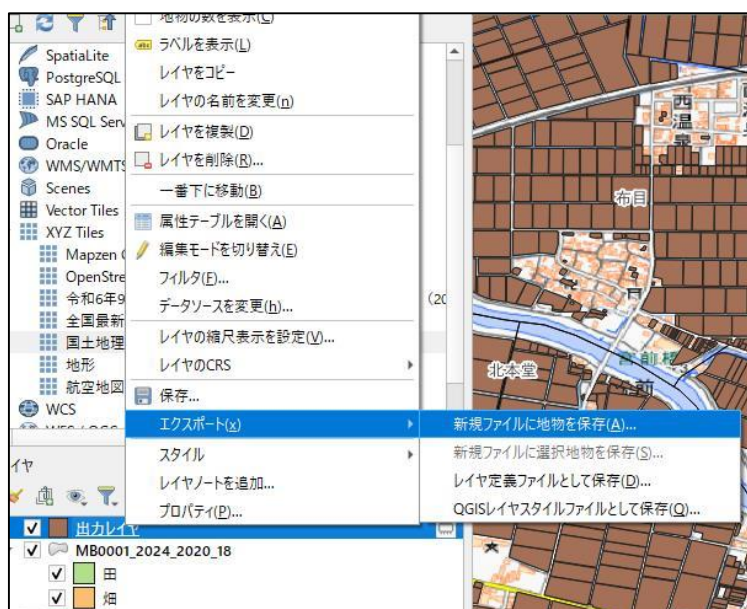
参考

「実行」をクリック後、下記のような表示がでますが問題ありません。  
(処理に時間がかかります)



作成された「出力レイヤ」を右クリックし、エクスポートを選択、新規ファイルに地物を保存をクリックします。

「名前を付けてベクタを保存」が開くので、①形式は「FlatGeobuf」、②ファイル名の「…」をクリックし、③保存場所を作業フォルダ、④交差データとして保存します。



## 参考

地図の印刷、凡例の修正方法はマニュアル「QGIS 活用編」に掲載しています。